



細江カトリック教会

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 📠083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura>

雑 感

林 尚志 神父

「中道改革連合と言う新党が出来たね」冗談ばいけど次のような連想をしました。

細江教会に辿り着いて、中道を行ったら、公園に落ちて進み海峡に落ちてしまう！（笑）

真ん中進まず左に行く左派右に行く右派。どちらにしますか？私は普段左派ですが、教会に着いたら右派、右へ行きますよ。これは聖堂に入って聖体訪問をしますと言う意味です。

もう20年以上前ですが、日本のイエズス会の教会司牧分野の司祭達が広島に集まり、研修会をしました。最後に、参加されていた東京の信徒に、何か感想・意見があれば話してくださいと司会者が頼みました。その人は「お祈りの形で申し上げます」と言われ、静かに手を合わせて目を瞑り祈られました。「神さま、私は悲しいのです。最近聖堂で祈ってられる司祭の姿があまり見えず、私は寂しいのです」と。シーンとしてしまったことを思い出すのです。司祭達皆自分の事を振り返ったからです。

それで、細江教会に着いたら先ず聖堂でお祈りしてから、事務室・司祭室・信徒の場に行きます。この意味で先ず右へ行く右派なのです。

他の教会に行くときもあまり先ず聖堂には行かなくなっています。山口でも集まりなどあっても、ミサがある時は兎も角、時々しか聖堂には行きません。祈りは何処でもできる。そうです。確かに。

でもせっかく聖堂があるのですから、日常生活でなかなか出来ない聖堂で神さまと向き合う恵みを受けたいです。

「向き合えばいのち流れる」：忙しいので教会に来て聖堂で向き合えない。矢張り忙しいのは、心が亡びると書くように。いのちの流れが弱く成り、真の元気・生命力が弱く成る事ですか。聖堂で聖体の前で神と向き合う。そこで与えられる向き合いからの光と力は、新しいいのちの源泉ですね。

もう40年以上前の事、北九州黒崎の援助会経営の老人の為の施設で働く職員の方々の短い黙想会で「回心」について話をしました。改心(回心)とは神さまに心を回し行いを改める事と。すると話し終わって、おばさん(職員達)が詰め寄るように全員で来られて、言われました。私達は回心でなく「回足」ですと。説明は、毎日入所者の部屋を診回る時、色々例えば容態を聞いたりしますが、足先は心持急ぐのか、診回る人に向かず半分次の人・外に向っている。一人一人の方へとしっかり向き合わず自己都合の中途半端な向き合いですと。しっかりと唯一の人としての尊厳を持つ相手に「回足」が必要と言われたのです。いまでも深く思い巡らしています。

日々の生活の中で神様と向き合い、神さまが生きて働かれている一人一人の隣人と向き合う恵みを願いたい。そして勿論さらに、鉢でちょん切られて祭壇の前に生けられている花々にも向き合いたい。いのちささげて咲き賛美している花々と向き合う時、感謝と敬意が湧き出てきます。

神さまと向き合いその光・愛を受けること、左派も右派も中道も「向き合えばいのち流れる」信仰の現実への感謝と生きがいを受けて、日々喜びをもって生きていきましょう。



2026 年 新年の挨拶

親愛なる皆さまへ

新しい年 2026
年を迎え、心よりお
慶び申し上げます。
旧年中は、皆さまの
祈りとご協力のうち
に、多くの恵みと出



来事を共に歩むことができました。細江新聖
堂の献堂という大きな喜び、また司祭方の異
動など、共同体にとって大きな変化もありま
した。期待と不安が交差する中で、皆さまが
示してくださった信仰と支え合いの心に深く
感謝いたします。

また、私たちは「希望の巡礼者」をテーマとした
2025 年の聖年を終えました。

この一年の巡礼の歩みの中で、皆さまの心に
残ったものは何でしょうか。

聖年は終わりましたが、私たちの希望の旅は
これからも続いていきます。

希望とは、ただの願望ではなく、神に信頼し
て歩む者の生き方そのものです。先の見えな
い時にも光を見いだし、互いを尊重し、共同
体の一致と平和を築く力となります。希望は、
私たちがこの社会の中で神の愛のしるしとな
るための源でもあります。

新しい一年、聖霊が私たちの教会を照らし導
いてくださいますように。

変化の中にあっても希望の道を見いだし、多
様性の中で一致を育み、家庭や小さな集い、
そして教会全体に平和が満ちますように。

この教会が、神の現存を深く感じられる「心
のふるさと」となりますように祈り願っていま
す。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆さまの上に、主の豊かな祝福と健康、平安
がありますように。



主任司祭、Jb ファン・デュック・ディン

待降節黙想会 12/14 (日)

ディン神父様もご指導を受けられた東京カ
トリック神学研究所教授、神学博士山中大樹
神父様をお迎えし6頁の資料をもとに「わた
しが来たのは、羊が命を受けるためしかも豊
かに受けるためで

ある(ヨハネ 10:
10)」を分かりやす
く説かれました。

細江をよくご存
じで、リントホルス
ト、林、アレックス、
住田、小崎各神父

様の時代に来ておられ、聖堂のステンドグ
ラスが残されているのをとても喜ばれ、懐かし
いご様子でした。

ヨハネ福音書を中心に、イエス様がご自分
を「命のパン 6:27,33、天から降ってきパ
ン 6:41,51 意図 6:27,33 永遠の命を与える。
/世の光 8:12・意図 8:12 従う人は暗闇
の中を歩まず命の光を持つ。/羊の門 10:7,
門 9・意図 10:9 通る者は救われる。/良い
羊飼い 10:

11,14・意図 11:15 羊のために命を捨てる。
/復活,命 11:25 意図 11:25,26,38

~44。/道,真理,命 14:6,7 意図 14:6,

7。/まことのぶどうの木 5:1,5 意図 15

:5,10 豊かな実を結ぶ。」と言われた聖書の
章・節とその言葉が意図する機能の一覧表

と、良い羊飼いであるイエス様について味わ
う3つのポイント

① イエス様が私たちを知っていること

② イエス様を私たちが知っていること

③ 私たちを知っておられる方、私たち

が知りたい方は私たちのためにいのちを置く
ことを厭わない方だとよく知っているかを確認
しました。

羊飼い、イエス

と題して、ヨハネ 10:1~18 を、加えて関連す
る旧約聖書、詩編 118:19、エレミヤ 50:6、



エゼキエル 34:2~8、イザヤ 40:11 を、そしてヨハネ 1:9,10 を味わいました。

小羊、イエス

と題してヨハネ(1:19~34[洗礼者ヨハネの証し])…ヨハネは自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。…この方こそ神の子である。(ヨハネ 1:29)出エジプト記 12:21~24, ヨハネ 19:14a、マルコ福音書 14:12 を深く味わいました。

資料の終わりに「私たち自身を振り返る」と題して「まず私にとって、イエス様は神の小羊と言えるのかと問うことが大切だろう。世の中には便利なもの、手助けをしてくれるものはたくさんあっても、不安や孤独が増すような世の中で調子のいいことを言っている人は多いように思われる。それら全てが不要だと言うのではないが、私にとってイエス様はどういう方なのかとたびたび確認することは大事ではないか。私はイエス様という方を他の人にどのように紹介するだろうか。これらのことを振り返るために、私がイエス様と繋がった経験、どういう救いの経験をしたのかを思い出してみるのには有益。同時に、どういうときに私はイエス様に留まっていられないか、あるいは、イエス様と日々の生活の中で繋がっているために一体何ができるのかと祈ってみることも助けになるだろうし、ゆるしの秘跡の準備のためにも役立つだろう。」と書かれていました。



す。」と説教をされました。

広報委員

2025 降誕祭 12/24・25



* 香を焚き、幼子イエスの誕生を祝福する

新聖堂で初めて迎えるクリスマス。夜は未信者の方もミサに与り、また日中も多くの信徒が希望の光である「幼子イエスの誕生」の喜びを共に分かち合いました。

夜のおもてなし係の方々と25日の祝賀会の準備の方々の協力により、以前の賑わいが少し返ってきたようでした。

カトリックセンターは、スペース的に限りがありますが…

みんなが譲り合って
楽しめたら
と思います。



* ベトナム青年とお祝いの席で…



主の公現まで、幼子イエスを聖堂に残して、淋しい思いをさせたのではないかと、ふと思う。

また、正面の外にそびえている十字架に3人のベトナム青年と信徒1人がイルミネーションを飾り付けましたが、皆さまはお気づきになりましたか。

小雨の降る中をわずかな材料で作業をしてくれました。まるで、三人の博士がやってきたという感じでした。

来年は早めにイルミネーションを準備しておきましょう。見えないところの奉仕に感謝しつつ…クリスマスが過ぎていきました。

Merry Christmas

クリスマスの思い出

新しい教会が完成して初めてのクリスマスを迎えます。「細江教会の思い出」にも寄稿いただきましたが、ミサや行事に直面するとどうしても昔を思い出します。歳かな・・・



私の学生時代の頃は、深夜ミサは今より遅い時間に始まり、時には午前0時になったこともありました。そのころは本当に大勢の人が集まりミサやパーティーに時を忘れる事も毎年の事でした。



神父様、三位一体の聖体宣教女会のシスター達、日曜学校の子ども達、学生会の面々(40名は居た)、大人の人達。また偶々下関港に停泊中の本船の船員さん、韓国のサッカー選手と部屋一杯の時もありました。ミサが終わると天使幼稚園の1階の講堂に集まり、飲み物やケーキやお菓子でおなかを満たしゲームをしたり、歌を歌ったりで徹夜で時を過ごしたものです。

当時は地球温暖化の影響もなく積雪の道を歩き教会に行ったこともありました。

正に White Christmas です。

近年はベトナムの若い人達が一生懸命になって、馬小屋を造ったり、クリスマスツリーを飾ったり ベトナム語ミサやパーティーがあったりで ずいぶん国際的になりました。良い事です。

ただ小生は、よる年並みで車を廃車し、加えて帯状疱疹の後遺症で夜間行動が制限され深夜ミサに参加出来ないのは残念です。

25日のミサでは2025年の家内安全、健康で過ごせたことを神様に感謝し心をこめて祈りました。

今年は年男なので馬力をだして教会のために頑張ります。

K.T

*写真提供は投稿者



行事予定

- ・2/ 1(日)14:00 財務会計の集い/山口
- ・2/10(火)19:00 協働体委員会//細江
- ・2/11(水・祝) 世界病者の日
- ・ // 13:00 思想と信教の自由を守る会
/カトリックセンター
- ・2/14(土)10:00~15:30
平和アピール記念行事/細江
- ・2/15(日)ミサ後、防災研修会
- ・2/18(水)灰の水曜日(11:00, 19:00)
- ・2/20(金)13:00 財務委員会
- ・2/23(月・祝)宣教ひろば/山口
- ・3/ 1(日)ミサ後、宣教司牧評議会
- ・3/ 8(日)9:00 四旬節黙想会
- †
十字架の道行き・・・2/20~3/27(毎金曜)

編集後記

・世界各地で起こっている紛争地で、苦難と不安の中にある人々のためにも、一日も早く平和が実現しますように・・・

神よ、私たちの祈りを聞き入れてください。

・2/11 は世界病者の日です。今もお苦しんでいる方々のために、神さまの愛を届けたい。